

演者と巡る世阿弥

講師 味方玄（観世流シテ方） 久田舜一郎（大倉流小鼓方）

世阿弥の生涯や業績をたどり、そのゆかりの地もめぐる講座です。毎回世阿弥に関連した曲を取り上げ、訪れた現地にて、講師お二方に演者の立場から、実演もふくめたわかりやすい解説もうかがいます。

◆前後期、年二回のペースで開講し、継続の予定です。前期講座では世阿弥にゆかりのある現地を訪ね、後期には生駒山宝山寺を訪れて、特別に寺所蔵の貴重な世阿弥関連文書を間近に拝見させていただく予定です。

第十七回 2021年 7月25日（日）

三重県名張市に「観阿弥創座の地・伊賀説」をたどる

■受講料 一般 4,000円 アカデミー会員 3,600円

*資料費・保険料込 *JR京都駅発（予定）の貸し切りバスで移動
*当日のバス代・食事代・拝観志納料は、別途各自のご負担（当日徴収）となります。

観阿弥創座の地としては、大和説と、伊賀説に二分されている。前者は、観阿弥が現在の奈良県桜井市付近で活躍した山田猿楽美濃大夫の養子の三男にあたり、田原本の結崎座を拠点に活躍した後独立して観世座を率いたという説に基づく。一方、ちょうど世阿弥が生まれた1363年頃、観阿弥が妻の出生地であろう伊賀小波多（現三重県名張市小波田）に移り座を創設した後、大和の結崎で新たに座を組織したというのが後者の説である。今回は、市を挙げて観阿弥を顕彰し、能楽愛好の機運が盛んな名張市を訪ね、「観阿弥創座の地・伊賀説」をたどる。

◆名張の氏神として崇拝される宇流富志禰神社を訪ね参拝の後、特別なご配慮により、拝殿にて講師お二人による奉納演奏、参集殿にてご講義をお聴きします。また江戸期にこの地を収めた名張藤堂家より、同神社に寄進された能・狂言面45面（県指定有形文化財）も拝見します。



味方玄（観世流シテ方）

父、味方健、片山幽雪、十世片山九郎右衛門に師事。KBS京都テレビ「能三昧」監修・演出・出演。2003年新作能「待月」を制作し、脚本・演出・シテを勤める。青嶂会他、独自の舞台世界創作のためテアトル・ノウを主宰。初回1996年、京都の十念寺における、蠟燭や篝火の光や風も効果的に演出された古風な形の能が好評を博す。近著に『能へのいざない』など。平成13年京都市芸術新人賞、平成16年京都府文化奨励賞など。重要無形文化財総合指定保持者。



久田舜一郎（大倉流小鼓）

1961年大倉流宗家・故大倉長十郎師に入門。京阪神を中心に能楽五流の舞台に出演、海外公演参加多数。異ジャンルの音楽とのセッションなど、能の現代性を追及する試みも積極的に行う。長女陽春子も女性では珍しい大倉流小鼓方の若手ホープとして活躍中。1998年日本文化芸術奨励賞受賞。2011年兵庫県文化功労表彰、神戸文化活動功労賞受賞。2017年兵庫県文化賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。西宮在住。

* おおむね8:30頃に貸し切りバスで出発、現地での講座の後、昼食をはさんで帰路につき、17:00頃解散予定です。行程や実費経費、集合場所等の詳細は開催日約一カ月前にお申込者にご案内いたします。

* 先生方を囲んで個室でとるお食事（約3000円）は当方で手配いたします。
* バス代として別途6000円程度がかかります。車内でもご講義をうかがいます。



白鷹緑水苑

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236
E-mail: info@hakutaka-shop.jp
URL: <http://www.hakutaka-shop.jp/>

氏名	ふりがな	電 話	F A X
住所	〒		
メール			
一般 ・ アカデミー会員【会員番号: 】 ・ アカデミー入会希望			
1 回(2021年7月25日)			